

# 第1章 言語・教育

いよいよ、ここからが本編である。まずは自由英作文のテーマで最も頻度が高く、答案も比較的作りやすい〈言語・教育〉というテーマでウォーミング・アップを試みよう。

言うまでもないが、英作文は〈言語〉で書くのである。それだけに、まずは〈言語〉というものに真剣に対峙してみる必要がある。〈言語〉は便利なものであると同時に、誤解を招く紛争の種でもある。1945年に日本がポツダム宣言を受諾を迫られた際に、当時の鈴木貫太郎内閣はまず日本語で「閣議ニ諮ルマデ黙殺スル」と発表し、翻訳した人物が「黙殺スル」の部分を **ignore** と訳したために、広島に原爆を落とされる結果になったという有名な話をご存知だろうか。言葉は一つ間違えば戦争にもなり得る危険な道具とも言える。ちなみに、「黙殺スル」とは「無視する」という意味であり、これを **ignore** と訳すことに問題はない。問題は「閣議ニ諮ルマデ」と期限を設けるのであれば、「黙殺スル」ではなく「留保スル」でないと論理的におかしいということだ。もっともこれは俗説であって、この翻訳の如何にかかわらず、原爆の投下は決定されていたのであるが。

このように、日本語をただ英語に変えればよいという短絡的な考え方では正確な英文は書けない。自分の書く文章が論理的か否かを常に確認しながら作っていかなければならない。実際に、自由英作文に挑戦してみれば、自分の言いたいことを英語で言うことの難しさや、たとえ何某かの英文を作れたとしても、それだけでは自分の言いたいことの半分も含まれていないなどということに気付かれると思う。初めは皆そんなものであるから、あまり神経質になる必要はないが、論理的に論を進めていくという姿勢だけは絶えず念頭に置いていただきたい。

誰もが思い浮かぶような典型的なサンプルを中心に、時にはひょっとしたらあまり多くの人が気がつかないような、意外ではあるが的を射た答案を示してみたので、大いに参考にしてほしい。

## 〈言語・教育〉というテーマで知っておくとよい表現

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| □ 1. 必修科目               | a compulsory subject                          |
| □ 2. 英会話をする             | hold a conversation in English                |
| □ 3. ゆとりある教育            | cram-free [pressure-free] education           |
| □ 4. 共通語                | a common language                             |
| □ 5. 英語圏の国              | an English-speaking country                   |
| □ 6. 公用語                | an official language                          |
| □ 7. 言語を取得する            | learn [acquire] (a) language                  |
| □ 8. あいまいな表現            | vague expressions                             |
| □ 9. 英語に堪能である           | be good at English / be proficient in English |
| □ 10. 国際化の時代            | the age of globalization                      |
| □ 11. 自分の意見を述べる         | express oneself / express one's opinion       |
| □ 12. 言葉の暴力             | verbal violence                               |
| □ 13. 学校裏サイト            | unofficial school websites                    |
| □ 14. 個人攻撃              | a personal remark                             |
| □ 15. 他人の言い分            | what other people have to say                 |
| □ 16. 画一的な教育            | uniformity of education                       |
| □ 17. 自分でものを考える         | think for oneself                             |
| □ 18. 飛び級制度             | the skipping system                           |
| □ 19. 成績がよい<br>試験の成績が悪い | do well in school<br>do badly on exams        |
| □ 20. いじめ               | bullying                                      |
| □ 21. 学級崩壊              | classroom breakdown                           |
| □ 22. 詰め込み教育            | cramming-type education                       |
| □ 23. ～に暗記事項を詰め込む       | cram ~ with facts and figures                 |
| □ 24. ～から得るものが多い        | get a lot out of ~                            |
| □ 25. 辞書で単語を調べる         | look it up in the dictionary                  |

【注】 15. have to は〈見せかけの have to〉である（『文法矯正編』§86）。  
18. この表現において、dictionary の冠詞はふつう the である（『文法矯正編』§67）。